

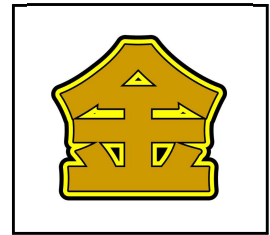
# 今年の漢字・成丘小の「金」

2021.12.24 校長 西谷 秀幸

今日は、いつもの朝会ではありません。2学期のまとめをする式、終業式です。

毎年「今年の漢字」というのが選ばれているのを知っていますか。では、「今年の漢字」は何になったでしょう。正解は「金」です。

東京オリンピック・パラリンピックで日本人の選手が大活躍して、「金メダル」をたくさん取ったこと、大谷選手がアメリカのメジャーリーグで、今年一番活躍したMVPに選ばれた（つまり金メダル）になったこと、「給付金」が配られたことなどが主な理由だそうです。



では、成丘小は、どんな2学期だったのでしょうか。

デルタ株で新型コロナウイルスの感染者がものすごく増えてしまったことにより、9月の最初は、不安そうな顔をして登校する人がたくさんいましたね。オンラインで自宅で授業を受けていた人もいたと思います。

5年生が楽しみにしていた榛名移動教室も中止になってしまい、全校での運動会も中止になってしまいました。

しかし、教室の電子黒板が新しくなり、みんなに配られていたタブレットを全クラスで一斉に使えるようになりました。5・6年生は、大人にビックリするような使い方をしていましたが、校長先生は、1年生や2年生がこんなこともできるのか…と驚きました。

例えば、1年生は、算数で長さ比べをするのに写真を撮って、オクリンクで文字を書いて比べたり、自分で描いた絵が何に見えるか、質問しながらやり取りするところを自分たちで動画に撮っていました。そんな1年生に「金メダル」です。

2年生も「まちたんけん」で見つけたものを写真に撮り、オクリンクで説明する文章も書いて紹介していました。ワンツーランドでは、1年生に教えている姿を見て、みんな成長したなあ…と思いました。そんな成長した2年生に「金メダル」です。

3年生とは、消防署と一緒に見学に行きましたね。しっかりと話を聞くだけでなく、たくさん質問している様子に、消防署の人から「校長先生、他の学校では、こんな3年生、なかなかいませんよ。」と褒められました。そんなすごい3年生に「金メダル」です。

4年生は、環境問題を調べ、LEGOのロボット使って、解決策を発表していました。ロボットの動き方を工夫していたことにも感心したのですが、「こんなプログラムを作りました」などと、プログラミングの説明もしていたことに、とてもビックリしました。そんなプログラミングと発表ができる4年生に「金メダル」です。

5年生は、榛名移動教室が中止になった代わりに、2週間前の金曜日に「相模湖プレジャーフォレスト」というところに行ってきました。榛名に行けなかった分、日帰りだけど、特別に行けることになったのです。

成丘小の歴史上、最初で最後の「相模湖プレジャーフォレスト」は、5年生の皆さんにとって、「金メダルに等しい思い出」になったと思います。そして、何よりも、5年生と一緒に出かけ、「来年の6年生もきっと最上級生として素晴らしい成丘小を作ってくれる準備ができています。」と確信しました。そんな5年生の行動にも「金メダル」です。

6年生の日光移動教室は、小学校生活で一番の思い出、つまり、思い出の「金メダル」とも言えるでしょう。他にも展覧会の準備や片付けなど、1年生～5年生までのみんなが知らないところで、たくさん働いてくれました。そんな6年生にも「金メダル」です。

展覧会は、一人一人の素敵な作品に「金メダル」を送ります。でも、それだけじゃないんです。この全校作品が、なんと板橋区の小中学生の展覧会、「区展」でも飾られることになったのです。そんな全校作品は、「大・金メダル」ですね。

校長先生は、1学期には見られなかった皆さんの笑顔や成長する姿をたくさん見ることができ、とても嬉しく思いました。そんな皆さんの成長にも「金メダル」です。

さあ、明日からは楽しい冬休みです。でも、皆さんは、家のお客さんではありませんね。だから、年末はおうちの人と一緒に大掃除をして新年を迎えましょう。そして、新年には「明けましておめでとうございます」という気持ちの良い挨拶をしましょう。

特に、お年玉をもらったときには、両手でいただいて、心を込めて「ありがとうございます」と挨拶しましょうね。そして、1月1日には、今年の目標をしっかりと決めましょう。

今、オミクロン株が流行ってきたし、冬はインフルエンザも心配です。手洗い、マスク、消毒、うがいなど、しっかりと予防をし、また、交通事故にも気を付けて、元気に過ごしましょう。

これで2学期終業式の話が終わります。3学期は、1月11日からです。今年は、去年よりも6日間も長い冬休みです。嬉しいですね。新学期に会えるのを楽しみにしています。

では、よい年を迎えてくださいね！

(裏面に「先生方へ」があります)

## 〈先生方へ〉

2学期もいよいよ終業式です。1年ぶりの全校行事である展覧会、日光移動教室をはじめ、学年スポーツ大会、榛名代替行事、校外学習など、感染症対策をしながら実施していただき、ありがとうございました。

また、一人一台端末の活用についても、1年生から6年生まで、それぞれ工夫して取り組んでいただき、本当にありがとうございました。職員会議でも話しましたが、各学年での取組については、区内小学校と共有してより充実を図っていきたいと思います。所定のひな形で、各学年の取組を作成していただければ幸いです。

さて、普段は年休の取得もままならないことが多いですから、冬休みはできるだけ年次休暇等を活用して、家族との団らんを第一にしてください。3学期始業式は1月11日からと例年より3日も遅い（昨年度より6日間遅い）ので、ぜひゆっくりしていただき、3学期に備えていただければと思います。3学期もよろしく願います。では皆様、よいお年をお迎えください。

### 【資料1】 今年の漢字、2021年は「金」

日本漢字能力検定協会は2021年12月13日、今年の世相を漢字一字で表現する年末の風物詩「今年の漢字」を発表した。全国公募により決定し、京都・清水寺の森清範貫主が揮毫した2021年の漢字は「金」であった。

日本漢字能力検定協会による「今年の漢字」は、1年を振り返り世相を表す漢字一字を考えることで、漢字の奥深さと意義を再認識してもらおうと、1995年より毎年実施している。27回目となる2021年は、11月1日から12月6日まで募集。12月13日午後2時より、京都・清水寺の本堂で結果を発表した。

応募総数22万3,773票から1万422票（4.66%）を集めた第1位は「金」。長く暗いコロナ禍において開催された東京オリンピック・パラリンピックで日本人選手が活躍し多数の「金」メダルを獲得。大谷翔平選手が大リーグMVPを満票で受賞する等、リアル二刀流でシーズンを通して活躍し、松山英樹選手による日本人初のマスターズ制覇、藤井聡太棋士の最年少四冠達成等、国内外でこれまで成し得なかった多くの「金」字塔が打ち立てられた。新型コロナウイルス関連の給付「金」等でも多く使われた。

「金」を選んだ理由には、「東京オリンピック、パラリンピックは選手が大活躍で怒涛のメダルラッシュだった。特に金メダルは想定外の獲得数で驚きの一言。新型コロナウイルス関連の暗いニュースの中、明るいニュースで多くの感動をもらった」「東京五輪での金メダルラッシュは凄かった！過去最多を更新した。大谷翔平選手や藤井聡太四冠等が金字塔を打ち立てた。コロナ禍で生活が困窮する方々に多くの支援金があてられた」等があった。

2位は、1位の「金」と大接戦となった「輪」。3位「楽」、4位「変」、5位「新」、6位「翔」、7位「希」、8位「耐」、9位「家」、10位「病」。前年のトップ20の漢字のうち、「耐」「病」「禍」「密」「苦」といったコロナ禍を象徴する漢字が引き続きランクイン。ワクチン接種が進み感染者数が落ち着いてきたことにより、「菌」「疫」「粛」「離」等の漢字に代わって、「楽」「希」「明」といった明るいイメージの漢字が上位に並んだ。（<https://resemom.jp/article/2021/12/13/64815.html>）

### 【資料2】 これまでの「今年の漢字」と主な出来事

2020年「密」	3密、密室の政治判断、芸能界での密会報道	2008年「変」	リーマンショック
2019年「令」	新元号令和	2007年「偽」	食品偽装・宙に浮いた年金記録
2018年「災」	大きな地震・台風、豪雨、記録的な猛暑など、災害が多発	2006年「命」	悠仁さま誕生
2017年「北」	北朝鮮の動向、北海道のジャガイモ供給不足、ｷﾀｼﾞﾝﾌﾞﾗｯｸ	2005年「愛」	紀宮さま成婚・「愛・地球博」
2016年「金」	リオ五輪・政治とカネ（金）	2004年「災」	台風や猛暑等の天災
2015年「安」	安保関連法案・明るい安村・テロや異常気象の不安	2003年「虎」	阪神のリーグ優勝
2014年「税」	消費税率が8%に引き上げ	2002年「帰」	拉致被害者の帰国
2013年「輪」	2020年東京五輪開催決定	2001年「戦」	米国同時多発テロ
2012年「金」	ロンドン五輪・ノーベル賞	2000年「金」	シドニー五輪
2011年「絆」	東日本大震災	1999年「末」	世紀末
2010年「暑」	猛暑日が連続	1998年「毒」	和歌山カレー事件
2009年「新」	政権交代	1997年「倒」	山一証券経営破綻
		1996年「食」	O-157食中毒
		1995年「震」	阪神大震災